

報告事項 1

令和 6 年度事業計画について

令和 6 年度事業計画について、一般社団法人しまね地域医療支援センター定款第 40 条第 1 項の規定により作成し、次のとおり報告する。

I. 事業計画策定に当たっての基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の状況に留意しつつ、WEBの有効活用を図るとともに、人と人（しまねの医師と医師）とが接する機会の確保に一層の重点を置き、効果的な事業実施に努めていく。

医師のキャリア形成支援について、令和 5 年度は、支援センターに登録するほとんどの医師との面談又は医局訪問を実施できた。

令和 6 年度も、全ての登録医師とタイムリーな面談ができるように取り組む。

特に、地域枠等の医師数が年々増加していることから、円滑な義務履行に向けて、専任医師とともによりきめ細かな助言、フォロー、調整等の支援や地域の医療情報の提供等を行うとともに、県外大学を含む積極的な医局訪問等により情報提供を行っていく。

一方で、学生時から卒後の県内勤務の理解を深めていくため、キャリア形成プログラムや地域の医療情報などの提供を積極的に行い、学生と支援センターの関係づくりの強化に取り組む。

研修体制支援については、病院を越えた県内医師のネットワークづくりや県内の多様な医師との交流を促進するため、しまね臨床研修医合同研修会や指導医講習会など、積極的に対面による実施に取り組むとともに、若手医師グループや病院が創意工夫して行う研修会や市町村等と医学生・医師との交流会等の取組を促進していく。

情報発信については、医学生や研修医等が、地域や病院、人(医師)を知り、つながっていくよう、従来からのHPや情報誌による発信に加え、令和 4 年度から強化したSNS発信、さらには、令和 5 年度から実施した医学生病院見学バスツアーなどの実施に取り組む。

令和 5 年度は、関係機関との関係を強化のため、19 の市町、関係病院を直接訪問、また、年 3 回の臨床研修病院との連絡会を開催し、有効な情報共有や意見交換ができたが、令和 6 年度においても、積極的に訪問や連絡会を実施し、連携を強化し、“若手医師に対するオールしまねでの支援体制の構築”をさらに進めていく。

【重点事項】

- 1 地域枠等医師とのよりきめ細かな面談・フォロー、医局訪問（県外大学を含む）の実施
- 2 若手医師・学生への情報提供、つながりの強化
- 3 大学、関係医療機関、市町村との連携強化
- 4 新型コロナウイルス感染症防止対策の状況を踏まえた、効果的な事業実施

Ⅱ. 事業計画

1. 医師のキャリア形成支援事業 (3,544 千円)

しまねの地域医療に貢献する志を持った若手医師が県内で安心して研修・勤務できるようキャリア形成を支援する。

(1) 医師面談・医療機関調整事業

地域枠等医師や医学部 6 年生等に「キャリア形成プログラム」や「キャリア形成支援基本方針」の周知を図りながら面談を行い、個々のキャリアプランの作成を支援する。

令和 6 年度対象者：266 名 (令和 5 年度対象者：249 名)

- ・地域枠等医師が、円滑な県内勤務義務の履行とキャリアアップの両立が図られるよう、きめ細かな面談や関係機関との調整等を行い、確実なキャリアプランの作成を支援する。
- ・所属する大学医局や病院に対しては、直接訪問等を行いながら、地域枠等医師の確実な県内・へき地勤務の履行、地域の医療状況に応じた人事、派遣をお願いする。
- ・地域枠等医師が勤務する病院に対し、義務履行とキャリア形成に配慮した支援をお願いする文書を送付する。

(2) 地域枠等学生へのキャリア形成プログラムの周知

- ・地域枠等の大学 5 年生を対象に、キャリア形成プログラムの説明会等を開催し、臨床研修マッチングの前から、同プログラムに基づき県内勤務義務の履行とキャリア形成を両立した確実性の高い将来計画を立てることができるよう支援する。
- ・地域枠等の大学 1 年生を対象に、早期から地域勤務をイメージしてもらうため、キャリア形成に関する支援セミナーを開催する。

2. 充実した研修体制支援事業 (45,110 千円)

研修体制の充実を図るため、大学、臨床研修病院、その他の病院、診療所等が連携して行う若手医師育成の取組を支援するとともに、しまねでの研修の魅力アップを図る。

(1) 若手医師等研修支援事業 (11,034 千円)

①しまね臨床研修医合同研修会

臨床研修医の医師、社会人としての意識の向上やスキルアップ、ネットワークづくり等を進めるための合同研修会を開催

②しまね専門研修プログラム橋渡し事業

県内で専門研修を行っている専攻医等との座談会や個別相談等の場を設け、先輩医師や専門研修プログラムを知る機会を提供することで、県内で専門研修を行う医師の増加を図る。

③臨床研修環境充実支援事業

研修環境の充実を図るため、臨床研修病院が連携して行う取組を支援

ア 臨床研修病院連絡会

県全体の臨床研修の充実を図るため、臨床研修病院の担当医師、事務担当者が意見交換を行う連絡会を開催 (年 3 回)

イ 基本的臨床能力評価試験

県内の臨床研修医の研修目標到達度を客観的に評価し、各病院の研修プログラムの改善や充実に活かすため、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する「基本的臨床能力評価試験」受験を支援（助成）

ウ 若手医師自主企画応援助成

しまねで頑張る若手医師（概ね 40 歳まで）の自主的・先駆的な活動の経費を助成し、若手医師のスキルアップや横断的なネットワーク構築を促進

（２）指導医等研修支援事業 （18,633 千円）

①指導医講習会

厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を開催し、県内の臨床研修指導医の養成及び確保を図る。

令和 6 年度は集合形式（一部オンライン）で 1 回開催予定（10 月～11 月。出雲市内）

②研修・指導体制充実強化事業

県内各病院の研修・指導体制の充実強化を目的とした取組を支援（助成）し、各病院の魅力化を図り、若手医師の県内定着に繋げる。

③地域交流会支援事業

地元と地域枠等医師、医学生等のつながりを確保・促進するため、市町村等が行う交流会の開催費等を支援

（３）研修ネットワーク支援事業 （15,443 千円）

県内で総合診療専門医や精神科医等の育成のための県内ネットワークを構築し、研修体制の充実・支援を行う。

①総合診療専門医育成ネットワーク事業（島根大学地域医療支援学講座に委託）

- ・各医療機関間のネットワークづくり
- ・総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の整備支援 等
- ・医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療専門医についての普及啓発

②精神科医キャリアアップ支援ネットワーク事業

- ・精神科医キャリアアップ研修会等の開催
- ・短期研修参加経費の助成
- ・情報発信

③産婦人科医師育成ネットワーク事業（島根大学産婦人科講座に委託）

- ・関係機関による産婦人科医のネットワークづくり
- ・産婦人科を志望する医学生や研修医の見学旅費支援
- ・産婦人科研修体制の充実
- ・情報発信

３．研修医確保に向けた情報発信事業 （19,988 千円）

島根大学医学部や島根県出身等で県外の大学に在籍している学生や臨床研修医等に対して、多様な媒体を活用して、島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等を P R する。

（１）県内病院合同説明会等開催事業 （8,662 千円）

①臨床研修病院合同説明会の開催

島根大学医学生や県外の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催

- ・令和6年6月 WEB説明会（予定）
- ・令和7年2月 対面説明会（予定）

②専門研修病院合同説明会の開催

臨床研修医に向けて「しまね専門研修プログラム説明会」を開催

- ・令和6年7月 WEB説明会（予定）
- ・令和7年1月 WEB説明会（予定）

③病院見学旅費支援

県外からの臨床研修医、専攻医を増やすため、県外の医学生や医師が県内プログラム病院を見学する際の旅費を支援(助成)

- ・医学生を対象（臨床研修医の確保）
- ・臨床研修医を対象（専攻医の確保）

④中学生・高校生の医療現場体験セミナーの開催

将来の医療人材の確保に繋げるため、医療に興味のある中学生、高校生を対象に、しまねの医療現場を体験してもらうセミナーを開催

⑤病院見学バスツアー

県内の医学生を中心に地域での人々の暮らしや研修病院が立地する地域を知ってもらうことを目的とした日帰りバスツアーを実施

⑥キャリア形成相談会

学生が多く参加するイベントに参加し、当センターの事業をPRするとともに、専任医師によるキャリア形成相談会を実施

（２）多様なメディアを活用した情報発信事業（11,326千円）

島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等を、多様な媒体を利用して広くPRする。

- ①Facebook、LINE、ホームページにより、センターや大学、病院等の取組を定期的に発信
- ②Instagramを活用し、県内臨床研修病院の魅力を発信
- ③島根県臨床研修指定病院ガイドブックの発行
- ④支援センターマガジンの発行
- ⑤オリジナルグッズの制作
- ⑥専門研修病院の紹介動画の作成

４．ワークライフバランスの推進（7,540千円）

出産、育児、介護等による医師の離職防止、復職支援等の推進を図ることを目的に、県内ネットワークの構築、医療機関等の相談・支援体制の構築を図り、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備し、女性医師等のキャリアサポートを推進する（島根大学地域医療支援学講座に委託）。

（１）ワークライフバランス復職支援体制強化事業（5,045千円）

①相談窓口の設置

出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための「えんネット」相談窓口設置

②復職支援プログラム作成支援

オーダーメイド型の復職支援プログラムにより、復職のために必要なサポートを実施

(2) サポート体制充実事業 (2,495 千円)

①情報収集・情報発信

育児や介護、地域の子育て情報など、復職に対し必要な情報を発信

②女性医師等ネットワーク形成

仕事に復帰したいと考えている女性医師等を対象にした情報交換やネットワークづくりや復職支援の企画等の意見を聞く場としてランチミーティング等を開催

③研修会・託児等支援

5. 関係機関との連携体制の構築 (1,602 千円)

若手医師が研修しやすい、勤務しやすい環境整備に向けた県内の支援体制の構築に向け、専任医師や大学、病院、県、市町村等との連携体制を強化するための定例会、連絡会等を開催する。

①みらいセミナーの開催

県内の病院長や地方自治体のトップを対象に、医師確保や地域医療の充実、医師のキャリア支援等をテーマとしたセミナーを開催

- ・開催時期：令和6年6月

- ・会場：出雲市内

②センター定例会の開催

- ・開催日：毎月2回程度

- ・参加者：支援センター専任医師、事務局職員等

- ・内容：センター事業の企画・立案、事業実施状況の報告、検証、課題等の意見交換

③3者会議

- ・開催時期：毎月1回

- ・会場：島根大学医学部附属病院 みらい棟会議室

- ・参加者：島根県、島根大学医学部地域医療支援学講座、支援センター

④圏域別市町村・医療機関への情報提供、連携の強化

支援センター職員が関係病院や市町村を直接訪問し、情報提供や地域課題の共有等を図りながら、より一体的な取組を推進

⑤島根大学医学部附属病院各診療科並びに医学部関係講座との連絡協議会

支援センターの取組状況の報告や地域医療の状況、課題等に関する意見交換を行うため、月1回、大学医学部附属病院各診療科、講座との連絡協議会を開催

⑥市町村と連携した圏域単位の交流会の開催

地域枠等医師と医療機関や市町村とのネットワークを構築するため、市町村と連携し圏域単位での交流会を開催

6. 医師不足状況等の把握・分析 (46 千円)

県内の地域医療に資する調査・研究事業を推進し、医療状況の把握・分析を行う。

- ・地域枠等医師の動向、派遣・配置状況

- ・臨床研修医の動向調査、研修状況

- ・県調査、国調査に基づく県内医療資源の分析等